

省当局ニ対シ保息増収ノ嚴重ナル交渉ヲ開始セラレ度シ
二、予算ノ編成

貴公司ニ於テハ從來収支ニ関スル予算ヲ編成シタルコト
ナキヲ以テ資金ノ用途其宜敷ヲ得サルノミナラス會計ノ
整理ハ頗ル乱雜ヲ極メタルハ既ニ御承知ノ通りナルニ付
明年度ヨリ予算ニ準拠シテ収支ヲ定メ以テ會計ノ確立ヲ
期セラレ度シ

尚明年度支出予算ノ編成ハ公司ノ現状及各鉄道ノ実例ニ
基キ營業收入(八十萬元)ノ七割五分ヲ限度トセラルル
ヲ以テ適當ト認ム

三、冗員ノ整理及局課ノ廃合

公司財政状態ノ窮迫セル現状ニ顧ミ人件費ノ節減ヲ実行
セラレタシ尚局課廢合ノ可能ナルモノヲ列挙シテ整理ノ
資ニ供スレハ左ノ如シ

事項七 四洮鐵道關係

四六〇 二月二十三日

芳沢亜細亞局長ヨリ
在京川村滿鐵社長宛

四洮鐵道ノ支線白音太来、開魯間鐵道敷設計
画ニ付対中国新借款團ニ提議方依命申進ノ件

(機密信)

白音多拉開魯間鐵道敷設計画ニ関スル件

拝啓陳者貴社ニ於テハ白音多拉枝線ヲ開魯迄延長ノ希望ヲ
有シ居ラルル趣ノ処右計畫實施ニ当テハ対支新借款團ノ関
係ヲ考慮スルノ必要有ルヤ否ヤニ付曩ニ貴社ヨリ御照會ノ
次第有之候処該枝線ノ敷設ニ関シテハ鄭家屯白音多拉間枝
線敷設ノ場合ト異リ日本側トシテハ德義上一応該計畫ヲ新
借款團ニ提議スルコト必要ト被存候尤モ該枝線ハ白音多拉
線ト不可分ノ關係ニ在ルコトハ申ス迄モ無之貴社本線路ト
モ密接ナル關係有之候ニ付該延長線丈ヲ全然別個ノ形式ニ
依リ敷設經營スルコトハ種々ナル不便可有之矢張白音多拉
枝線ノ場合ト同様ノ方法ニ依リ施設スルコト好都合ト思考
セラレ候ニ付一応新借款團ニ提議スト雖結局ハ日本側丈ト

- (一) 購買課ハ會計処ニ併合セシムルコト
- (二) 機關庫ハ車務処車輛課ニ併合セシムル事
但シ車輛課長ハ手腕家タルコトヲ要ス
- (三) 車務処長ハ之ヲ廢シ坐弁ノ兼任トスル事

四、顧問ノ權限

貴公司ニ於ケル會計及工作ノ重大事項ハ先ツ顧問ノ意見
ヲ徵スヘキモノナルニ拘ラス從來ハ顧問ノ參議ヲ經スシ
テ決定セラレタル実例ノ少カラサルハ弊社顧問推薦ノ趣
旨ニ背致スル次第ニテ看過スヘカラサル事項ナルニ付今
後ハ諸事顧問ト商議ヲ遂ケ以テ契約ニ合セシメラレ度シ
五、列車ノ増発

山下渡鉄橋既ニ竣工シタルヲ機トシ此際列車ヲ増発シテ
收入ノ増加ヲ計ラルルハ緊急事項ト認メララルニ付諸施
設ニ研究ヲ加ヘラレ早日実行ニ着手セラレタシ

シ他国団体ニ於テ之ニ參加セザル方望マシク又借款團中他
国団体ニ於テモ白音多拉鄭家屯間ガ全然我方ト關係アルノ
ミナルニ其延長線ニ対シ強テ關係ヲ付ケントスルノ希望ハ
或ハ無之ヤモ難計ニ付旁々目下小田切正金銀行取締役北京
ニ出張中ナルヲ幸ヒ同氏ヨリ新借款團代表者側ニ提議セシ
ムルト共ニ右様ノ含ヲ以テ交渉ヲ遂ゲ他団体ヲシテ可相成
ハ參加方断念セシムル様可然措置方御取計相成度此段依命
申進候也

四六一 二月二十四日

木部滿鐵東京支社長ヨリ
芳沢亜細亞局長宛

白音太来、開魯間鐵道敷設計ニ関シ其ノ四国借
款團トノ關係ニ付外務省及ビ拓殖事務局ノ意
向問合方松岡滿鐵理事ヨリ申越シノ件

付屬書

二月五日付松岡滿鐵理事ヨリ東京支社長宛書翰
白音太来開魯間鐵道ノ件

東庶第一一二四号

(二月二十六日接受)

大正十二年二月二十四日

南滿洲鐵道株式會社東京支社

支社長 木部守一

亜細亜局長殿

白音太來開魯間鐵道ノ件

首題ノ件ニ関シ本社松岡理事ヨリ別紙写ノ通り申越有之候
ニ付不取敢供御高覽候何レ其内拝訪親シク御意見拝聴仕度
ト存候

敬具

(付屬書)

二月五日付松岡滿鐵理事ヨリ東京支社長宛書翰

社外二二第一四号ノ一一 大正十二年二月五日

理事 松岡洋右

東京支社長殿

白音太來開魯間鐵道ノ件

本件ニ関シ、外務省ノ意見トシテハ、四国借款団トノ關係
ヲ考慮スルノ必要アリトノコトナルカ、現在ノ鄭白線ハ僅
ニ七十哩ニシテ現在ノ線路カ開魯マテ延長セラレ始テ四鄭
線又ハ四洮線ノ延長又ハ支線ノ一部タルヘキモノナリ、支
那側ハ大正四年十二月十七日四鄭鐵道借款契約ヲ締結シテ

其ノ支線又ハ延長線敷設ノ為ニスル借款優先權ヲ我ニ認メ
タル次第ナレハ會社ノ借款ニ依リ鄭白線ヲ開魯マテ延長ス
ルコトハ企業ノ性質上予定計画ノ実行ニシテ此ノ借款ハ鄭
白線借款ノ追加トモ称スヘキモノナリ、四国借款団ノ規約
中ニハ既ニ具體的進捗ヲ為セルモノト認ムヘキ企業ニ關ス
ル既存ノ借款契約ハ本規約ノ範圍ヨリ除外スルコトヲ規定
ス、鄭白、白開二線ノ關係ハ前記ノ如ク不可分のニシテ白
開線ノ工事ハ既ニ具體的ニ進捗ヲ為シタル企業ノ一部ト見
ルヘキモノナレハ之ニ要スル會社ノ借款ハ

- (1) 借款団ノ規約ニ牴觸セサルモノト解スルコトヲ得ヘシ
- (2) 少クモ右ノ關係ハ四国借款団ノ諒解ヲ求ムル理由ト為ス
ニ足ルヘシ

尚本件借款ノ一般の考察ニ於テ四国借款団ノ成立ニ際シ我
方ニ留保シタル所謂滿蒙五線ノ敷設權ハ其ノ支線及延長線
ノ權利ヲモ包含シタルモノト解釈シ得サルヤ若斯ク解シ得
ルモノトセハ本件白開線ノ敷設ニ就テモ我ニ於テ留保セル
敷設權ノ一部ヲ遂行スルモノニシテ借款団ノ共同範圍ニ屬
セサルモノト主張シ得可シ此ノ点ニ関シ外務省ハ如何ナル
意向ヲ有スル哉、白開線ノ敷設ニ関シテハ會社ハ技術及營

業ノ統一上、四鄭、鄭白兩線ト同様ニ會社ノ借款ニ依ルコ
トヲ希望スルモ若外務省カ四国借款団トノ關係上會社ノ借
款ヲ認容セサル場合ニハ會社トシテハ
(3) 何人ノ借款ニ依ルヲ問ハス白開線カ速ニ敷設セラルルコ
トヲ切望セサルヘカラス

此ノ点ニ関シ外務省ハ如何ナル意向ヲ有スル哉、尚此ノ際
滿蒙ニ於ケル四国借款団ノ共同活動ノ範圍ニ關スル當局ノ
意向ヲ確メ置キ度シ、近來支那側ヨリ滿蒙五鐵道以外ノ鐵
道敷設ニ関シ會社ノ援助ヲ求メ來タリツツアリ、滿蒙ニ於
ケル新線ノ敷設ハ社線及五鐵道ノ競争線ナラサル限リ會社
ノ最希望スル所ナルヲ以テ會社ノ援助ニ依リ新線ヲ敷設セ
シムルコトト致シ度シ、會社ノ援助カ會社ノ半國家的性質
上不可能ナリトセハ會社以外日本企業家ノ援助ニ依リ得ル
モノト解シ度シ

政府カ四国借款団ノ共同範圍ヨリ滿蒙除外ノ交渉ヲ為スニ
當リ吉会、鄭洮、長洮、開吉鐵道ノ單獨借款權ヲ保留セリ、
之右ノ鐵道ニ關スル借款契約ハ四国借款団ニ加入シタル我
カ銀行團ニ依リテ締結セラレタルモノナルカ故ニ特ニ其ノ
借款權ヲ保留シタルモノニシテ之カ為前記鐵道以外ノ鐵道

ハ悉ク四国借款団ノ共同範圍ニ屬ストハ解シ難シ、從テ四
国借款団ニ屬セサル日本企業家タル個人又ハ団体ハ新線敷
設ニ関シ隨意ニ支那側ト協定スヘク必スシモ公募ノ形式ニ
依リ借款タルヲ用ヒス、此ノ如ク借款団ニ屬セサル我企業
家ノ援助ハ公募セラルル借款ヲ一手ニ引受ケムトスル四国
借款団ノ規約トハ全然趣ヲ異ニスルカ故ニ支那側ト該企業
家間ノ短期借款ニ依リ滿蒙新線ヲ敷設セシムルコトハ四国
借款団ノ範圍外ナリト解シ度シ、若政府カ借款ニ依ルコト
ヲ認容セサル場合ニハ工事請負又ハ工事材料売渡ノ方法ニ
依ルモノ可ナリ此ノ点ニ關スル當局ノ意向如何

政府カ四国借款団ニ加入シタル我カ銀行團以外ノ日本企業
団ヲモ四国借款団ニ加入セシムヘキ予想ノ下ニ四国借款団
規約ニ關スル交渉ヲ為シタリトスルモ四国借款団ノ共同範
圍ヨリ除外スヘキ事業ノ何タルヤニ關シテハ別ニ現實ノ事
体ニ応シテ考慮スル方針ナルヘク殊ニ滿蒙ニ於ケル除外ニ
關シテハ滿鐵ノ枝線又ハ營養線タル理由ト国防其ノ他ノ理
由トヲ以テ前記各鐵道ノ借款權ヲ保留シタル關係モアレハ
新線ノ敷設ニ對スル我企業家ノ援助ニ關シテモ同様特種ノ
主張ヲ為シ得ヘシト思ハル、少クモ右ノ關係ハ四国借款団

ノ諒解ヲ求ムルニ足ルヘシ此ノ点ニ関スル当局ノ意向如何
右ニ関シ重ネテ外務省及拓殖事務局ト詳細ノ御打合ヲ願ヒ
度シ

追テ本件ハ一応社長ニ經伺ノ上措置セラレ度シ 以上

四六二 五月四日 在中国吉田臨時代理公使ヨリ
内田外務大臣宛

外交部ヨリ鄭洮間鐵道敷設工事暫停方ニ関シ

照会越ノ件

付屬書一 沈外交総長臨時代理ヨリ吉田臨時代理公使宛

照会正字第一〇〇号

鄭洮間鐵道敷設工事暫停方ニ付照会ノ件

二

交通部ヨリ川村滿鐵社長宛照会

鄭洮間延長工事ハ交通部ノ許可ヲ經ザレバ着
手シ得ザル旨照会ノ件

機密第四二三号 (五月十四日接受)

大正十二年五月四日

在支那

臨時代理公使 吉田 伊三郎(印)

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

本件ニ関シ今般外交部ヨリ別紙写ノ通照会越候ニ付テハ右
滿鐵会社ニ移牒シ支那側ニ対スル回答振ヲ徴スルコトニ取
計置候此段不取敢報告申進候也

(付屬書一)

沈外交総長臨時代理ヨリ吉田臨時代理公使宛照会

鄭洮間鐵道敷設工事暫停方ニ付照会ノ件

照会 正字第一〇〇号

外交次長暫行代理部務沈為

照会事准交通部函称查四洮鐵路營業不甚發達不宜於此時再
投巨大資金益增虧耗鄭洮段展限工程應暫緩進行業經本部於
三月十九日函請南滿鐵道会社查照在案茲聞奉天方面現与該
社接洽進行該段展線事宜復經本部函知該社所有該段展線事
宜在該社未經本部許可以前不得有所進行照錄函稿送請轉達
等因相應照会

貴代理公使查照見復為荷須至照会者

付抄件

右照会

大日本国欽命臨時代理駐華全權公使 吉田

(右和訳文)

照会 正字第一〇〇号

以書翰啓上仕候陳者四洮鐵道ノ營業現在頗ル不振ナルニ付
今後更ニ巨額ノ資本ヲ投シ益々損失ヲ大ナラシムルハ面白
カラサレハ鄭家屯洮南間ノ延長工事ハ暫時見合ハサレ度ク
交通部三月十九日付ニテ南滿鐵道会社ニ通知致置候処目下
奉天方面ニテ同社ト延長商議進行中ナル旨聞及候カ延長ニ
付テハ交通部ヨリ更ニ同社ニ通知致スヘク且ツ其ノ延長工
事事務ハ交通部ノ許可アル迄ハ着手スルヲ得サルニ付右ノ
趣貴代理公使宛伝達方請求有之候間右及御照会候御調査ノ
上御回答相成ハ幸甚ニ候 敬具

一、写文同封

外交次長臨時総長代理 沈

大日本特命臨時代理駐支公使 吉田殿

(付屬書二)

交通部ヨリ川村滿鐵社長宛照会

鄭洮間延長工事ハ交通部ノ許可ヲ經ザレバ着手シ得ザル旨照会ノ
件

照抄函南滿会社川村社長

敬啓者四洮鐵路營業不甚發達不宜於此時再投巨大資金益增

七 四洮鐵道關係 四六三

虧耗鄭洮段展線工程應暫緩進行業經於三月十九日函請

貴社查照在案茲特再行声明所有該段展線事宜在

貴社未經本部許可以前不得有所進行相應函請查照並見復為
荷此致

南滿鐵道会社川村社長

(右和訳文)

南滿会社川村社長宛照会文写

拝啓陳者四洮鐵道營業ハ甚不振ニ付此際再ヒ巨額ノ資金ヲ
投シ益々損失ヲ大ナラシムルハ宜シカラサレハ鄭家屯洮南
間ノ線路延長工事ハ暫ク見合セラレヘキ旨三月十九日付書
函ヲ以テ貴社宛通知致置候処茲ニ再ヒ該区間ノ線路延長工
事ハ凡テ貴社ニ於テ本部ノ許可ヲ經サル以前ニハ着手スル
ヲ得サルコトヲ声明致候間御回答被下ハ幸甚ノ至ニ存候

敬具

南滿鐵道会社 川村社長殿

四六三 八月二十四日 横濱正金銀行島借款課長ヨリ
出淵亜細亜局長宛

南滿州鐵道株式会社四洮鐵道借款書換ニ関ス

ル件

付屬書

八月十四日付正金北京支店ヨリ児玉頭取宛報告書
右同伴

第十二ノ二三三三

(八月二十四日接受)

大正十二年八月廿四日

横浜正金銀行

頭取席借款課長 島 芳藏(印)

外務省亜細亜局長 出淵勝次殿

拝啓

本件ニ関シ敝行北京支店内借款団事務室ヨリ去十四日付書
信ヲ以テ別紙写ノ通り報告致越候ニ付其写茲許同封供貴覽
候 敬具

(後尾註記)

本件ハ滿鉄ヨリ未タ通報ナキハ心外ナル処実質上ヨリ云
ヘハ從來ノ借款ノ切替ニテ新ナル借出ナク主義トシテハ
不得止モノトシテ承認スヘキモノ乎

(付屬書)

正金北京支店ヨリ児玉頭取宛報告書

南滿州鐵道株式會社四洮鐵道短期借款書換ニ關スル件

編註 別添新聞切抜ヲ省略ス

四六四

十一月一日

在鄭家屯吉原領事ヨリ
伊集院外務大臣宛

四洮鐵道竣工營業列車運轉開始ニ關シ報告ノ
件

付屬書

右報告書

公第一五八号

(十一月十四日接受)

大正十二年十一月一日

在鄭家屯

領事 吉原 大藏(印)

外務大臣男爵 伊集院 彦吉殿

本件ニ関シ別紙ノ通り及報告候条御査閱相成度此段申進候

敬 具

本信写送附先 在支公使、奉天総領事

(付屬書)

四洮鐵道竣工營業列車運轉開始ニ關スル報告書

四洮鐵道本線未成線タル鄭家屯洮南間ノ工事ハ大正十一年
九月起工以來迅速ナル工程ヲ以テ進捗シ先ツ本年七月ヲ以

七 四洮鐵道關係 四六四

大正十二年八月十四日

頭第十二ノ一六三三

北京支店内借款団事務室

武内 和 吉

頭取 児玉謙次殿

南滿州鐵道株式會社四洮鐵道短期借款金壹千參百七拾万円
及鄭洮段借款金參百万円ハ何レモ本年五月三十一日期限満
了致居候処到底償還実行ノ見込無之予テヨリ交通部ニ対シ
案ヲ具シテ交渉中ノ由聞及ビ居候処昨十三日該案撰政閣議
ヲ通過シ追而調印ノ運ビニ到ル可ク確聞仕候間当地京報所
報(中外各紙所報同一)切抜キ御参考迄ニ入貴覽候右ニ拠
レバ前記元金ニ各利息合計百四十八万九千六百七十八円ヲ
加算シ總計壹千八百十八万九千六百七十八円ニ対シ借款金
額ヲ金壹千八百二十万円トシテ取扱手数料5½%金八万二千
五百円ニ対スル不足額金七万二千七百七拾八円ハ四洮鐵路ヨ
リ現金ヲ交付シ向フ一ケ年ヲ期シテ償還スルモノニシテ提
案内容ハ原定契約ト大差無之候右御報告申上度当用如此御
座候 敬 具

写 倫、紐、上、天、漢、大

テ鄭家屯太平川間七十哩開通シ次デ十月初旬頃迄ニハ全線
ノ開通ヲ見ル予定ナリシモ仏国ルール占領ノ結果軌条ノ不
足ヲ生ジタルノミナラズ又天候ノ不良等ニ因リ工事遷延シ
タリシガ十月二十七日ニ至リ軌条ノ敷設完成サレ試運轉ノ
結果良好ナリシヲ以テ本月一日ヨリ仮營業ヲ開始スルニ至
レリ

鄭家屯洮南間ノ駅名發著時刻距離及賃銀ハ左記ノ通りニシ
テ其ノ中賃銀ハ目下仮營業中ナルヲ以テ等級ノ區別ナク一
概ニ三等並ヲ以テ徴収シ居レリ

駅 名

鄭家屯、臥虎屯、前甸、茂林、三林、衙門台、金山、豊庫、
太平川、迈昭、開通、鴻興、双崗、黒水、洮南

列車發著時刻

發着時刻ハ目下仮營業中ナルヲ以テ一定シ居ラザルモ一日
一回鄭家屯洮南相互間ニ於テ左記ノ通り發着シ居レリ

列車番号	發	着
第七列車 鄭家屯午前六時〇分	洮 南午後五時〇分	
第八列車 洮 南午前五時〇分	鄭家屯午後三時五十五分	

四一七

距離

駅名	公 里	区 間	哩
鄭家屯	二、三、〇	一四、三	一四、三
臥虎屯	一五、一	三、八、一	二、三、七
前甸	二九、九	六、八、〇	一、二、四
茂林	一〇、六	七、八、六	二、四、七
三林	八、七	五、四	四、八、一
衙門台	九、七	六、〇	五、四、一
金山	九、七	六、〇	六、〇、一
豐庫	一三、八	一〇、六、七	六、八、七
太平川	二五、七	一四、六、二	一、六、七
辺昭	二四、一	一七、〇、三	九、九、七
開通	二〇、一	一九、〇、四	一、二、二
鴻興	一五、一	二〇、五、五	一、二、一、六
双崗	一六、八	一〇、九、四	一、三、一、一
黑水	一三、七	一〇、五、五	一、四、〇、六
洮南	二、三、六、〇	八、五	一、四、〇、六

旅客賃銀

(編註)
別表ノ通り(単位小洋元)

鄭洮線完成ノ結果東部内蒙古開発ニ甚大ナル影響ヲ与フベ

ク先ニ四平街白音太來間ノ鉄道開通以來鄭家屯白音太來其
他主要駅付近ニ於ケル發展ハ目醒シキモノアリタル処今後
洮南開通太平川地方ハ敍上諸市場ト相俟ッテ非常ナル繁榮
ヲ期待セラル

洮南ハ札薩克圖旗ニ屬シ洮南県治所在地ニシテ鄭家屯ノ北
五百三十支里伯都納ノ西北四百支里洮兒河ノ南岸六支里ノ
地点ニ位置シ札薩克圖旗開放以前ハ土名沙鷄莫多ト称セラ
ル蒙古ノ一寒村ニ過キサリシカ光緒二十八年同旗ノ荒地開
放ニ次テ此ノ地ヲ城基地ト定メ荒務局ヲ設置シ双流鎮ト改
称シ同三十一年洮南府治ノ設置ヲ見爾來逐年滿漢農商家ノ
移住スルモノ増加シ現時ノ如キ一大蒙古貿易市場ヲ形成ス
ルニ至リタルモノニシテ四洮鐵道工事開始以來ハ家屋ノ建
築盛ンニ起リ移住民ハ更ニ増加シ來リ今日ニ於テハ人口約
六万ヲ算シ將ニ鄭家屯ヲ凌駕セントシツツアル状態ニアリ
トス

鄭洮線開通ノ結果更ニ洮南齊々哈爾間、洮南長春間就中洮
齊線ノ開通ヲ希望スル者少カラズシテ支那側当局者間ニ於
テモ頻リニ協議シツツアル模様ナル処元來洮南市場輸入品
ノ大部分ハ四鄭線ニ依リ輸入セラレ其他吉林産ノ木材、粗

一日開通シ兩地間一日一回宛客車ノ運轉ヲ見ルニ至レリ当
事者ノ談ニ拠レバ各停車場ノ設備未ダ整ハザルモ營業ニハ
差支ナク旅客賃銀ハ鄭家屯洮南間一人ニ付三等小洋十元十
仙ナリ、在支公使ヘ郵報セリ

四六六 十一月八日(發)

(在中國芳沢公使ヨリ
伊集院外務大臣宛(電報))

四洮鐵道鄭家屯洮南線工事等所要經費短期借
款成立ニ関スル件

第一〇四八号

予テ滿鉄ニ於テ鄭家屯洮南線工事及四鄭線鉄橋工事等所要
經費短期借款ニ付交通部ト本年五月以來交渉中ノ次第ハ御
承知ノ通りナル処再度幾多ノ曲折ヲ經テ最近漸ク與交通総
長トノ間ニ内議纏リ不日手續キヲ了スル運ビトナレリ尚本
件借款成立ノ事実及内容ハ当分秘密ニ付スルコトニ打合セ
済ノ由ニ付右御含ミヲ乞フ委細郵報

編註 旅客賃銀別表見当ラス

四六五 十一月二日(發)

(在鄭家屯吉原領事ヨリ
伊集院外務大臣宛(電報))

四洮鐵道ノ鄭家屯、洮南間開通ニ関シ報告ノ
件

第四六号

四洮鐵道本線ノ未成線タル鄭家屯洮南間百四十哩八十一月

七 四洮鐵道關係 四六五 四六六

四六七 十一月二十二日 (発) 在中国芳沢公使ヨリ
伊集院外務大臣宛 (電報)

四洮鐵道第四次短期借款及ビ鄭家屯洮南線工
事費借款兩契約手續完了ニ関シ報告ノ件

第一〇八六号

往電第一〇四八号ニ関シ

四洮鐵道第四次短期借款千八百二十万円及鄭家屯洮南線所
要工事費借款八百十万円ノ兩契約關係文書十一月十五日夫
夫手續ヲ了セリ委細郵報尙前電通本件ハ当分秘密ニ付スル
コトニ打合済ノ由ニ付右御含アリタシ

四六八 十一月二十三日 在中国芳沢公使ヨリ
伊集院外務大臣宛

四洮鐵道短期借款契約締結ニ関スル件

付屬書一 五月三十一日付松岡滿鐵理事ヨリ張財政與交通
兩總長宛書翰写

- 二 四洮鐵道第四次短期借款ニ関スル件
五月三十一日付吳交通總長ヨリ松岡理事宛字第
二三〇九号写 右ニ対シ回答ノ件
- 三 十一月十五日付王財政總長ヨリ松岡理事宛財字
第三〇九六号写 右文書ノ効力ニ関スル件

記

- 一、四洮第四次短期借款ニ関スル松岡滿鐵理事發交通財政
兩總長宛書翰
- 二、右ニ対スル交通總長回答
- 三、右文書ノ効力ニ関スル財政總長ノ書翰
- 四、鄭洮線所要工事費借款ニ関スル松岡滿鐵理事發交通財
政兩總長宛書翰
- 五、右ニ対スル交通財政兩總長回答
- 六、右借款交付金ヨリ右契約締結迄ノ立替金控除ニ関シ在
北京牛島滿鐵代表ヨリ交通總長宛書翰
- 七、右ニ対スル交通總長回答

以上

(付屬書一)

五月三十一日付松岡滿鐵理事ヨリ張財政與交通兩總長宛書翰写
四洮鐵道第四次短期借款ニ関スル件

拝啓

大正拾壹年五月參拾壹日 締結四洮鐵道短期借款契約及 大正拾
民國拾壹年五月參拾壹日 締結鄭洮線工事速成借款契約ハ本日ヲ以テ期
老年拾月貳日 締結鄭洮線工事速成借款契約ハ本日ヲ以テ期

- 四 五月三十一日付松岡理事ヨリ張財政與交通兩總
長宛書翰写 鄭洮線所要工事費借款ニ関スル件
十一月十五日付王財政與交通兩總長ヨリ松岡理
事宛兩部會函第二三〇二号 右ニ対シ回答ノ件
- 六 十一月十五日付牛島滿鐵北京公所長事務取扱ヨ
リ吳交通總長宛書翰
右借款交付金ヨリ右契約締結迄ノ立替金控除ニ
関スル件
- 七 十一月十五日付吳交通總長ヨリ松岡理事宛第二
三一四号
右ニ対シ回答ノ件

機密第八七六号 (十二月六日接受)

大正十二年十一月二十三日

在支那

特命全權公使 芳沢 謙吉(印)

外務大臣男爵 伊集院 彦吉殿

本件ニ関シ往電第一〇八六号ヲ以テ不取敢及電報置候已ニ
御承知ノ通り本問題ハ本年五月以来ノ懸案ニ有之其ノ間政
局ノ變動殊ニ關係当局ノ更迭等ノ為メ遷延ヲ重ネ漸ク本月
十五日ヲ以テ一切ノ手續ヲ完了セル次第ニ有之候左記關係
文書写相添此段及報告候也

限到来ノ処敝社ハ右契約ニ依ル借款金ノ元利償還資金ニ充
ツル為 大正八年九月八日 締結四洮鐵道借款契約ニ依リ貴国政
府四洮鐵道公債ヲ發行スルヨリモ同契約往復文書ニ依リ一
時敝社ヨリ資金ヲ融通シ左記条件ニ依ル短期借款ト被致候
方有利ト被思料候ニ就テハ右様貴国政府ノ御同意ヲ得度ク
此段得貴意候也 敬具

- 一、借款金額 金壹千八百貳拾万円
- 二、借款期限 大正拾參年五月參拾壹日
民國拾參年五月參拾壹日

右期限到来前 大正八年九月八日 締結四洮鐵道
借款契約ニ依リ貴国政府四洮鐵道公債ヲ發
行シタルトキハ右期限ニ拘ラス本借款ハ直
ニ償還セラルヘキモノトス此ノ場合ニ於テ
利息ハ日割計算トス但期限ニ至リ短期借款
契約ヲ締結セサルカ又ハ前記公債ノ募集不
可能ナル場合ハ本契約ノ更改ヲ為スモノト
ス

- 三、借款利率 年九分五厘トス即元金百円ニ付一ヶ年金九
円五拾錢トス

四、借款調達
手数料

借款金額ノ五分五厘トス即借款金額百円ニ付金五円五拾銭トシ借款交付金ヨリ之ヲ控除ス但シ本借款金額中尨千參百七拾万円ニ對スル同率ノ手数料即金七拾五萬參千五百円ハ 大正十一年五月三十一日 締結四洮鐵道短期借款契約ニヨリ及參百萬元ニ對スル同率ノ手数料即金拾六萬五千元ハ 大正拾壹年拾月貳日 締結鄭洮線工事速成借款契約ニ依リ各々徵集済ナルヲ以テ本借款契約ニ於テ之ヲ徵集セス

将来四洮鐵道公債發行ニ際シテハ今次若クハ過去ノ短期借款ニヨリ手数料ヲ負擔シタル借款金額ニ對シテハ 大正八年九月八日 締結四洮鐵道借款契約第十三條第二項ニヨル手数料ヲ控除セサルモノトス

本借款金額中本契約ニヨリ貴國政府力敝社ニ支払フヘキ金額即手数料ヲ控除シタル殘額ハ 民國拾壹年五月參拾壹日 締結シタル四洮

五、不足金

厘トシ大正十一年五月參拾壹日ヨリ拾貳年五月參拾壹日ニ至ル一箇年）

金參百萬元

鄭洮線工事速成借款金額

金拾八萬八千七百七拾八円

鄭洮線工事速成借款金額參百萬元ノ利息（年九分五厘大正拾壹年拾月貳日ヨリ大正拾貳年五月參拾壹日ニ至ル貳百四拾壹日分）

金八萬貳千五百円

第三次借款金額ニ鄭洮線工事速成借款金額ヲ加算シタル金額ト今回ノ借款總額トノ差額ニ對スル五分五厘ノ手数料

金尨千八百貳拾万円

今回ノ借款總額

差引

金七萬貳千尨百七拾八円 不足額

右不足額ハ四洮鐵道工程局ヨリ敝社ニ現金ヲ以テ支払フモノトス

（付屬書二）

五月三十一日付吳交通總長ヨリ松岡理事宛字第二三〇九号写
右ニ對シ回答ノ件

鐵道短期借款契約ニ依ル借款金額金尨千參百七拾万円及其ノ利息並 大正拾壹年拾月貳日 締結シタル鄭洮線工事速成借款契約ニ依ル借款金額金參百萬元及其ノ利息ヲ支払フニ足ラサルヲ以テ右不足金額ハ本契約締結ノ日ニ四洮鐵道工程局ヨリ敝社ニ現金ヲ以テ支払フモノトス 以上

大正拾貳年五月參拾壹日

南滿州鐵道株式會社代表者

理事 松岡洋右

中華民國政府

財政總長 張 英 華 殿

交通總長 吳 毓 麟 殿

借款金額計算書

金尨千八百貳拾七萬貳千七百七拾八円 所要總金額

内 訳

金尨千參百七拾万円

第三次借款金額

金尨百參拾萬尨千五百円

第參次借款金額尨千參百七拾万円ノ利息（年九分五

交通部函十二年 字第二三〇九号

逕復者接准

貴會社本年五月三十一日函開茲因 中華民國 大正十一年五月三十一日所訂四洮鐵路短期借款合同及 中華民國 大正十一年十月二日所訂鄭洮段工程借款合同於本日滿期敝社爲籌充償還該合同所訂借款之本息資金起見爰用來往文件暫由敝社通融資金依

拋左列條件作爲短期借款較諸按照 中華民國 大正八年九月八日所訂之四洮鐵路借款合同發行中國政府四洮鐵路公債似爲便利並開列條件請予以同意見覆等因查函開條件尚可照弁應即同意相応將原開條件照訳華文計五條開列如左函請

貴會社查照備案弁理此致

南滿州鐵道株式會社代表松岡洋右君

計開

照訳原開條件五條如左

一借款金額 日金尨千捌百貳拾万円整

二借款期限 中華民國 大正十三年五月三十一日止在未到期以前

若依 中華民國 大正八年九月八日所訂四洮鐵路借款合同發行

中國政府四洮鐵路公債時則不拘期限到否應將本借款即行

償還其利息則按日計算但到期時既未另訂短期借款合同又尚不能募集前項公債則將本合同另行行政訂

三借款利率 週年九厘五即日金每百元一年付利息日金九厘五拾錢

四借款經理費 為借款金額百分之五五分五厘即借款金額每百元應付日金五元五拾錢由借款交付金內扣除之但對於本借款金額中老千參百七拾萬元之經理費五分五厘即日金七拾伍萬參千伍百元及其中日金參百萬元之經理費五分五厘即日金拾陸萬伍千元業經依摺中華民國十一年五月三十一日所訂四洮鐵路短期借款合同及中華民國十一年十月二日所訂鄭洮段工程借款合同均已收訖不再扣除在將來發行四洮鐵路公債之時對於依摺此次或從前之短期借款合同已經負擔經理費之借款金額則將中華民國八年九月八日所訂四洮鐵路借款合同第十三條第二項所載之經理費不再扣除五不敷金額 本借款金額中扣除按照本合同所載中國政府應付貴社之金額即經理費外其餘額如不敷支付中華民國十一年五月三十一日所訂四洮鐵路短期借款合同之借款金額日金老千參百七拾萬元及其利息暨中華民國十一年十月二

日所訂鄭洮段工程借款合同之借款金額日金三百萬元及其利息時則其不敷之金額應於本合同訂立之日由四洮鐵路工程局以現款交付

貴社

中華民國十二年五月三十一日

交通總長 吳毓麟

(付屬書三)

十一月十五日付王財政總長ヨリ松岡理事宛財字第三〇九六号写右文書ノ効力ニ關スル件

財政部公函十二年財字第三〇九六号

逕啓者前准本年五月三十一日致財政總長及交通總長來函關於四洮鐵路短期借款到期改訂合同一事業經交通總長仍按本年五月三十一日到期日期函復

貴社在案查該函僅有交通吳總長署名但此項公文与財政總長署名有同一之効力特此証明此致

南滿州鐵道株式會社代表理事松岡洋右君

署財政總長 王克敏

中華民國十二年十一月十五日

(付屬書四)

四借款調達
手数料

借款金額ノ五分五厘トス即チ借款金額金百円ニ付金五円五十錢トシ借款交付金ヨリ之ヲ控除ス但シ將來四洮鐵道公債發行ニ際シテハ本契約ニ依リ手数料ヲ負擔シタル借款金額ニ對シ大正八年九月八日締結四洮鐵道借款契約第十三條第二項ニ依ル手数料ヲ控除セサルモノトス

五借款交付金
金

本借款金額中本契約第四項ニ依ル借款調達手数料ヲ控除シタル殘額ハ交付ト同時ニ弊社ニ預金スルモノトス

右預金ニ對シ弊社ハ預入ノ日ヨリ年利率七分即チ元金百円ニ付一箇年金七円ノ率ニ依リ日割計算ヲ以テ利息ヲ付ス

右預金ハ四洮局會計主任ニ於テ二週間ノ予告ヲ以テ隨時分割シテ之ヲ引出シ得ルモノトス但シ引出シタル金額ニ對シテハ引出ノ日ヨリ預金利息ヲ付セス右預金利息ハ本借款ノ精算ト同時ニ精算シ一括シテ之ヲ支払フモノトス

以上

五月三十一日付松岡理事ヨリ張財政、吳交通兩總長宛書翰写鄭洮線所要工事費借款ニ關スル件

拜啓

大正八年九月八日締結四洮鐵道借款契約ニヨル四洮鐵道建設工事ハ可成速カニ完成スルヲ有利ト考ヘ候処右契約往復文書ニ基キ左記條件ニ依ル一時借款ト為シ以テ差當リ所要ノ資金ニ充當シ同時ニ四鄭鐵道短期借款元金ヲ償還セラレ候事最便宜ノ方法ト被思料候ニ就テハ右様貴國政府ノ御同意ヲ得度此段得貴意候也 敬具

一借款金額 金八百拾万円也

二借款期限 大正拾參年五月參拾壹日
中華民國拾參年五月參拾壹日

右期限到來前大正八年九月八日締結四洮鐵道借款契約ニ依リ貴國政府四洮鐵道公債ヲ發行シタル時ハ右期限ニ拘ラス本借款ハ直ニ償還セラレヘキモノトス此場合ニ於テ利息ハ日割計算トス但シ期限ニ到リ前記公債ノ募集尚不可能ナル場合ハ更ニ期限ノ更新ヲナスヘシ

三借款利率 年九分五厘トス即チ元金百円ニ付一箇年金九円五十錢トス

大正十二年五月三十一日

南滿州鐵道會社代表者

理事 松岡 洋右

中華民國政府

財政總長 張 英 華 殿

交通總長 吳 毓 麟 殿

(參考) 借款金額計算書

一金八百十萬元

借款總額

內 訳

一金四百九十六萬二千七百七十三圓

鄭洮線十二年十三年度

工事費

一金百九萬二千九百二十七圓

三江口及曲家店橋梁桁

費其他改築費

一金百六十萬元

四鄭短期借款元金償却

一金四十四萬五千元

本借款手数料(五分五厘)

(付屬書五)

十一月十五日付王財政、吳交通兩總長ヨリ松岡理事宛兩部會函
第三〇二號

右ニ對シ回答ノ件

財政部會函第二三〇二號

逕復者接准

貴會社本年五月三十一日函開依摺大中華民國正八年九月八日訂

立四洮鐵路借款合同之四洮鐵路建築工程務須從速完竣較寬

有利茲擬根摺該合同之往復文書照下開條件商訂臨時墊款俾

充底需資金及償還四鄭短期借款本金之利相應開列條件請予

同意等因查函開條件尚可照弁應即同意相應將原開條件照訳

華文計五條開列如左函請

貴會社查照備案弁理此致

南滿州鐵道株式會社代表松岡洋右君

計 開

照訳原開條件五條如左

一 墊款金額 日金捌百拾萬元整

二 墊款期限 中華民國正十三年五月三十一日

倘在該期限未到以前已依照大中華民國正八年九月八日所訂之

四洮鐵路借款合同發行中國政府四洮鐵路公債時不論前項

期限已否到期可將墊款即行償清其墊款利息應算至償還之

日止但本墊款如已到期而前項公債尚不能募集時應將期限

再行更新

三 墊款利率 為年利九釐五即每本金百圓付年九圓五十錢

四 經理墊款之酬勞費 為墊款金額之五釐五即墊款金額每百

元付酬勞費五圓五十錢在墊款內扣付但將來四洮鐵路發行

公債時對於依照本合同已經負擔酬勞費之墊款金額可不再

依照大中華民國正八年九月八日訂立四洮鐵路借款合同第十三

條第二項之規定扣付酬勞費

五 墊款之交付存儲 本墊款依照本合同第四項扣除經理墊款

酬勞費之余額應於交款之日同時存儲於

貴會社

貴會社對於該存款自存入之日起付年利七釐即每本金百圓

照年利七圓按日計算付息

該存款由四洮局會計主任以二星期之預告得隨時劃分提取

但對於已紀提取之金額自提取之日起不再付存款利息該存

款利息與本墊款之結算同時結算一併交付

財政總長 王 克 敏

交通總長 吳 毓 麟

中華民國十二年十一月十五日

(付屬書六)

七 四洮鐵道關係 四六八

十一月十五日付牛島滿鐵北京公所長事務取扱ヨリ吳交通總長宛
書 翰

借款交付金ヨリ右契約締結迄ノ立替金控除ニ関スル件

拝 啓

四洮鐵道局ニ於ケル鄭洮線工事進行ノ必要上本年五月三十

一日以降本日マテニ弊社ヨリ臨時當局ヘ立替ヘタル工事資

金及其ノ利息(年九分五厘ノ日割計算)ハ本日成立セル鄭

洮線所要工事費借款ノ交付金額中ヨリ控除スルコトニ致度

候ニ付テハ右ニ御同意有之度此段照會得貴意候

尚右ニ對スル御回答ハ直接弊社理事松岡洋右宛御送付相成

度候 敬 具

大正十二年十一月十五日

南滿州鐵道會社

北京公所長事務取扱 牛島 吉郎

中華民國政府

交通總長 吳 毓 麟 殿

(付屬書七)

十一月十五日付吳交通總長ヨリ松岡理事宛第二三二四號

立替金控除ニ関シ回答ノ件

第二三二四號

逕復者頃准

貴会社北京公所長牛島吉郎君來函內稱四洮鐵路因鄭洮段工事進行之必要自本年五月三十一日至本日止由敝社臨時所墊付之工事款項及其利息（週年九釐五毫按日計算）應在本日成立之鄭洮段所要工事費墊款之交付款項內扣除等因查函開

弁法本部並無異議相応函請

查照此致

南滿州鐵道株式會社代表理事松岡洋右君

吳 毓 麟 啓

中華民國十二年十一月十五日

事項八 对中国文化事業關係

四六九 三月八日 在中國小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛

朱念祖及比陳延齡本邦教育視察ノ為派遣サル

ルニ付諸事好意的便宜与ヘラレタキ件

付記一 三月二十二日水野梅曉ト朱念祖トノ會談内容（東方通信社水野梅曉氏提出）

二 團匪賠償金ノ「請求權拋棄」ニ關スル解釈（未定稿）（外務省亜細亞局第二課作成ノ調書）

公第一三二號 （三月十七日接受）

大正十二年三月八日

在支那

特命全權公使 小幡 西吉（印）

外務大臣伯爵 内田 康哉殿

二月二十四日大總統令ヲ以テ本邦教育視察ノ為江西教育庁長朱念祖及教育部僉事陳延齡派遣ノ命ヲ受ケ近々北京出發ノ予定ナルニ付同人等ニ對シ本使ヨリ本邦教育当局及教育家ニ紹介ヲ得以テ視察ノ目的ヲ達セシメ日支教育ノ發展ニ資セシメラレ度旨今般教育總長彭允彝氏ヨリ書面ヲ以テ依

賴致越候朱念祖氏ハ明治大學政治科出身ニシテ民國元年以來各處地方官ニ任シ後參議院議員或ハ參議院外交委員長等

ノ要職ニ就キ曾テ革命嫌疑ヲ以テ安徽軍政執法処ニ捕ハレテ獄ニ投セラレタル所謂八議員ノ一人トシテ有名ナル人物

（目下議員ノ位置ニ在ラサルモ益友社ノ手腕家ノ一人ナリ）ニ有之今回ノ使命ハ帝國政府ニ於ケル團匪賠償金ノ使

途等ニ付テモ何等当局ノ諒解ヲ得ンカ為ニハ非サヤト思ハルル点モ有之候就テハ此ノ辺御含ミノ上可然御応答相成且

ツ關係当局ニ紹介ノ外諸事特ニ好意的便宜ヲ与ヘラレ候様致度尙同氏等ニ對シテハ直接本使ヨリ田中外務次官及赤司

文部次官東西兩大學總長宛紹介書ヲ交付致置候間是亦御承知相成度此段御依頼申進候也

（付記一）

三月二十二日水野梅曉ト朱念祖トノ會談内容

教育視察員朱念祖ト語ル

（三月二十二日水野梅曉氏提出）

昨二十一夜入京セル朱念祖ハ參議院議員ニシテ江西教育庁